

多彩な個性 輝き一つに



発行所
鹿児島県立松陽高等学校
新聞同好会
鹿児島市福山町573番地

春夏の松陽生の活躍が満載

- 1面…「第42回文化祭特集」
- 2面…松元茶を振る舞い
～鹿児島茶日本一PR
福元洋介新校長
学校運営の意気込み語る
- 3面…松陽生の活躍特集
「煌めく松陽生」
- 4面…身近に生息特定外来種
松陽グルレボ探検隊

Art Days
アートな日々
VOL. 6
運がいいだけ

人々001 書画展 幸輝△Jや小

制作者 上村真生(3-8)
「戦地にいるのはあなただっただかもしれない」と見る側に主体的に気づいてもらうよう構成した。平和への意識を忘れないように、未来に平和をつなげる当事者意識を持ってもらいたい。温かさや無機質さが両立する色使いを工夫した。購買部近くで展示中。〔濱田藍華〕



夏休みが終わり、今年の夏を振り返る時期となった。今年の夏は、大雨や台風による水害が日

第42回文化祭

共生社会の実現テーマ 高いレベルのステージ・展示に感嘆

6月6日(金)・7日(土)の2日間、第42回文化祭が開催された。今年のテーマは「共に咲く」それぞれの色・形、今一つに。だ。昨年度に引き続き、多様性や共生社会の実現をテーマにした本校文化祭。多様な個性を認め合い、それらが一つの集合体として輝くことを目指している。1日目は、4年前から続く川商ホールでの本格的な舞台でのステージ発表。2日目は学校でバザー・展示が行われた。いずれも、多くの保護者や地域住民が参観し、大きなにぎわいを見た。

ステージいっぱい 躍動する松陽生

文化祭1日目のステージ部門は川商ホール(鹿児島市与次郎)の第一ホールで行われた。恵まれた舞台環境の中、松陽生らしい個性あふれる演技に会場は熱気に包まれた。

オープニングパフォーマンスを務めた書道部は、「無限を超える」と蛍光色で書き上げ、会場は大きな拍手が湧き起こった。開会行事の後、美術科3年生が制作した映像番組「ティーチャーズ」が放映された。

毎年大人気のこの作品は、今年は「芸能人格付けチェック」をモチーフとした内容で、日常では見られない先生方の演技で今年もホールいっぱいの笑いに包まれた。

3年英語コースによるディベート「恋をするなら追う恋? 追われる恋?」では高い英語力に耳目が集まり、



ダンス同好会の軽快なダンスに会場から歓声があがった。(川商ホール)

観客はどちらが勝つか、真剣にディベートに耳を傾けて考えていた。

幕間のレベルが高いのも松陽高校ならでは。弾き語りやフラダンス等、個性あふれる素晴らしい演技に驚かされた。午前の部は2・3年音楽科のレベルの高い、明るく楽しいパフォーマンスで締めくくられた。

午後の部は演劇部による「ヒロイン、ただいま準備中!」からスタート。舞台

いっぱいに熱演する姿に、思わずストーリーに引き込

モネの世界にうっとり 多彩な展示・バザーが盛況



美術科「ティーチャーズカード」完成度高く大人気! 昨年引き続き、今年も瞬く間に完売した「ティーチャーズカード」。今年は、名作絵画と先生方の顔のコラージュだ。あなたのお気に入りの一枚はどれ?

様々な世界観の 展示に観客魅了

文化祭2日目は、学校で展示・バザーが行われ、地域の住民が多数訪れた。美術科は多目的ホールでフ

ンスの印象派の画家クロード・モネの作品をテーマに展示を行い、文化祭テーマの「共に咲く」世界観を表現。展示スペースの中では、

生徒が製作した作品の販売ブースや、生徒がその場で描く似顔絵コーナーが設けられ、順番を待つ行列ができた。

各クラスの展示ではフォトスポットや人気テレビ番組を再現した参加型展示もあり、子供たちの人気を集めていた。バザーは2・3年生が企画し、軽食の販売等16店が出店。販売する教室の装飾にもこだわり、黒板アート等の手の込んだ装飾で観客を楽しませた。教室の中をピンク色に統一したメイド喫茶や、映画館をテーマに教室を装飾してポップコーンやポテトなどを販売するバザーなど、目と味で観覧者を楽しませていた。

〔米倉京夏〕

〔内野心春〕

文化祭のフィナーレを飾る吹奏楽部の恒例の「テキーラ」の演奏に、観客席の盛り上がりは最高潮に。(川商ホール)

